

会 議 資 料

1. 湯梨浜町議会の概要	(別冊)
2. 総務産業常任委員会	
・ 国民宿舎「水明荘」の経営診断報告	・・・ 1
・ 農業委員会と総務産業常任委員会の懇談会について	・・・ 2
・ 北条道路（はわい～大栄東伯間）の対応方針(案)について	・・・ 3
・ はわいICアクセス道路計画について	・・・ 4
《泊地域のみ》	
・ 筒地原線（筒地地すべり災害）の経過報告について	・・・ 5
3. 教育民生常任委員会	
・ 国民健康保険及び介護保険について	
国保被保険者構成割合推移	・・・ 6
国保運営状況及び計画の広報等	・・・ 7
・ 新中学校建設の進捗状況について	
平成 27 年度 新中学校建設・準備委員会行程表	・・・ 8
新中学校・学校給食センター建設工事行程表	・・・ 9
新中学校配置計画図	・・・ 10
進捗状況等	・・・ 11
4. 議会広報常任委員会	
・ 議会広報の活動状況について	
ゆりはま議会編集理念	・・・ 12
5. 意見交換	
・ 湯梨浜創生に向けて	
湯梨浜町人口ビジョンの概要	・・・ 16
湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要	・・・ 17
HP: http://www.yurihamajp/page.cgi?p=13216	

水明荘の経営診断報告

(1) 調査・診断過程

経営診断キックオフ：会計資料、条例、町総合計画及び職員アンケート、町長・支配人などへヒヤリング、施設・設備等調査

(2) 現状認識と方向をワーキング：職員の意識からみる課題整理、各部門の課題整理

(3) 課題整理・改善案作成：スタッフ打合せ等

(4) 改善案：骨子作成

(5) 中間報告：町・水明荘改善案

(6) 報告書提出(7月30日)：概要、経営改善報告書アクションプラン

【外部環境】

- ① 少子高齢時代、生産年齢人口・人口減少時代
- ② 消費税8%→10%
- ③ ダイバーシティ社会：多様な人材を積極的に活用しようという考え方
- ④ 長期的に地方の内需産業苦戦⇒同業種は椅子取りゲーム
- ⑤ ICT・グローバル・ネットワーク時代
- ⑥ 地政学リスク⇒隣国、IS国（テロ）等

【基本対応】

- ① リピート対策&単価アップ対策
- ② クリエイティブ・パワー（新しい価値を作り出す）売上高総利益率向上対策
- ③ ライフスタイルの提案
- ④ 個・グループの徹底管理（冠婚葬祭・記念日・健康企画、グルメ族等）
- ⑤ 時代の道具、時代のやり方を経営に取り入れる（DMO）
- ⑥ 時代ニーズの商品化・サービス化
- ⑦ リスクマネジメント、先行管理経営

【改善骨子】

- ① 行政・水明荘・議会が一丸となって、将来の町の振興に水明荘を活かす。
- ② 人材再生をベースにした民間的経営手法の導入、スタッフがサービス業に徹する。
- ③ 仕事の仕組みを再構築し、人材の確保、配置を図る。情報の共有化。
- ④ 企画営業を確立し、営業強化を図る。
- ⑤ 建物・施設等の適正管理、計画的に修繕等の資金確保。
- ⑥ 「おもてなし」と収支管理体制を取る。

経営診断者：ビジネスデザイン研究所 所長 穂田 誠一郎（中小企業診断士）

農業委員会と議会（総務産業常任委員会）の懇談会

期 日：平成27年7月30日

場 所：議会（議員控室）

出席者：農業委員会（会長、職務代理、3正副部会長）8名

部会：農政広報部会、担い手対策部会、農地対策部会

：議会（総務産業常任委員会委員、議長）7名

懇談会：農業委員会は地方自治法第180条の5第3項による行政機関

【業 務】

- (1) 農業委員会法第6条第1項：農地の権利移動（許認可・農地転用申請書の受理や意見書、遊休農地解消の措置など）
- (2) 同法第6条第2項：農地の確保・有効利用と担い手の確保・育成を中心に地域農業の振興
- (3) 同法第6条第3項：意見の公表、建議、答申

【農地転用】農地転用とは、農地を農地以外にすること。

農地法第4条：農地所有者が自分の農地で行う農地転用であり、例えば自分の農地を住宅用地、駐車場、山林などにする場合など、権利の移動をともなわないもの。

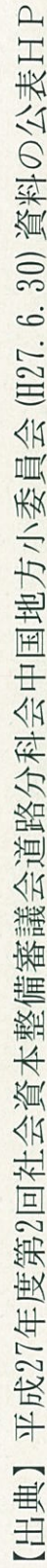
農地法第5条：農地を第三者に売ったり貸したりして農地転用することで、例えば自分の孫のための分家住宅を建てるためや、まったくの第三者が農地を買ったり借りたりして店舗や駐車場や住宅として使う場合など、権利を設定し、あるいは権利の移転を行うもの。

【懇談】

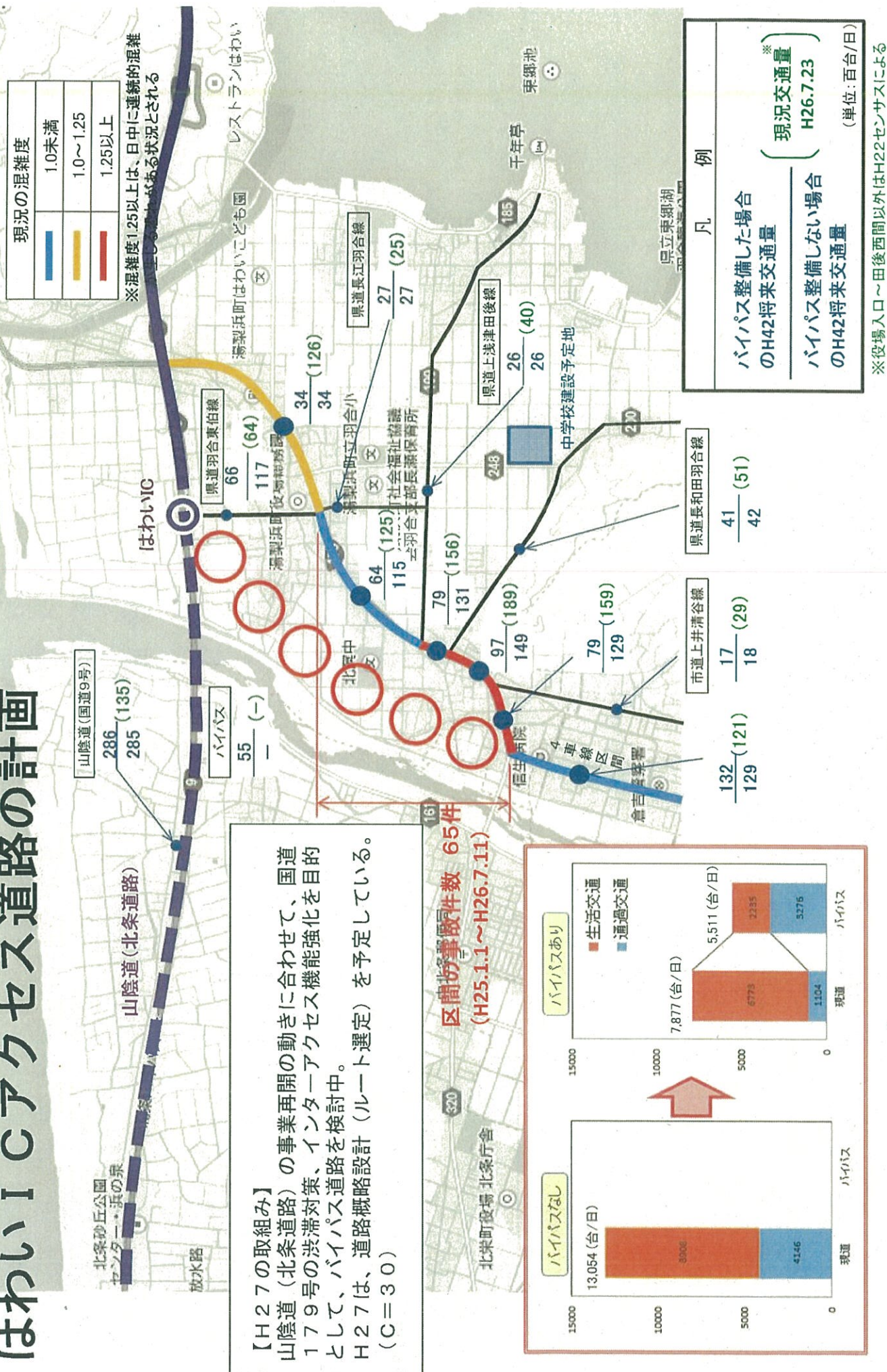
耕作放棄地対策や有害鳥獣（イノシシ）対策など、喫緊の課題をテーマに意見交換する。また、後継者問題や農業振興など、農業政策全般にわたって共通認識を深め、今後とも話し合いの場を持つことを確認した。



- はわい～大栄東伯間全線に自動車専用道路を計画し、安全性、定時性の高い高速道路ネットワークを形成する。



はわいICアクセス道路の計画



湯梨浜町筒地 地すべり災害

※県道泊絹見青谷線の道路災害(被災要因:地すべり)として災害申請し、滞り保留。

・ 災害査定: 平成27年5月19日~20日

・ 査定結果: 「方針15の2の(一)」に基づき保留。(決定見込み金額4億円以上)

・ 申請額: 613, 973千円

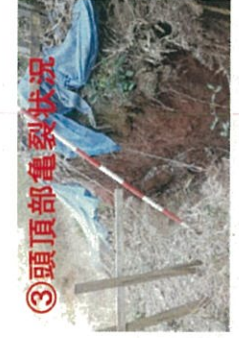
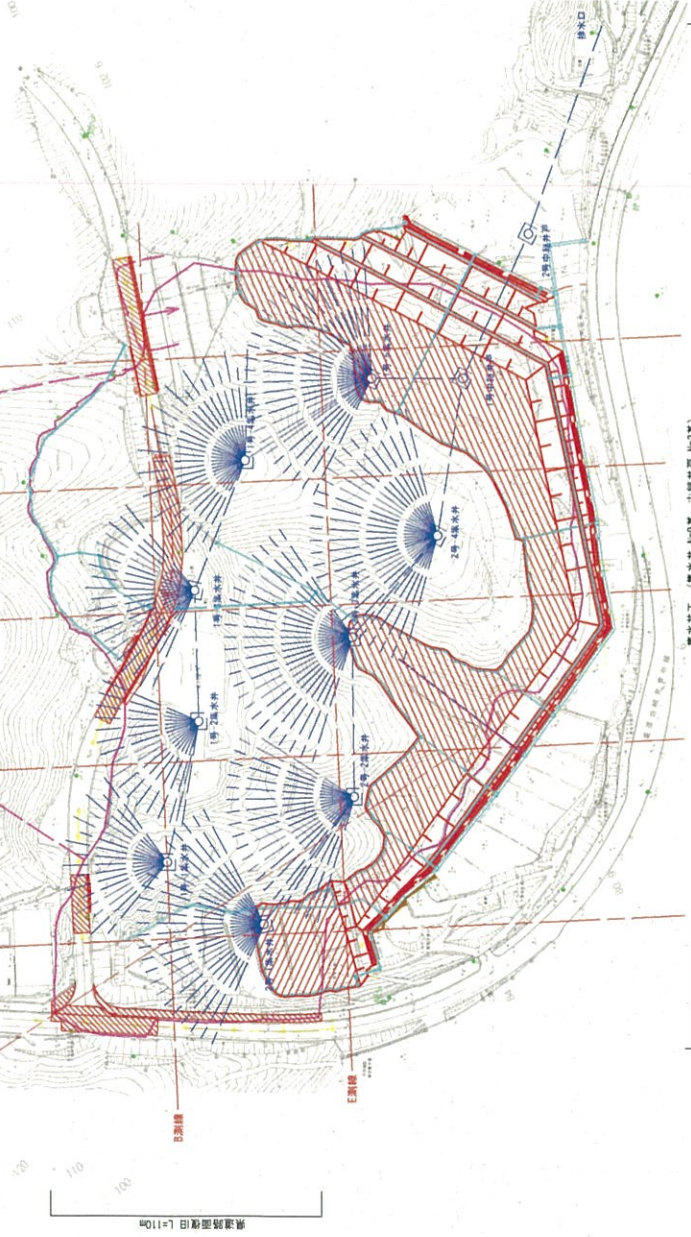
・ 工事概要: 集水井9基、中継井戸2基、押盛土55, 500m³

地表排水工381m、アスファルト舗装1637m²

・ 保留解除: 平成27年7月10日(査定額613, 973千円)

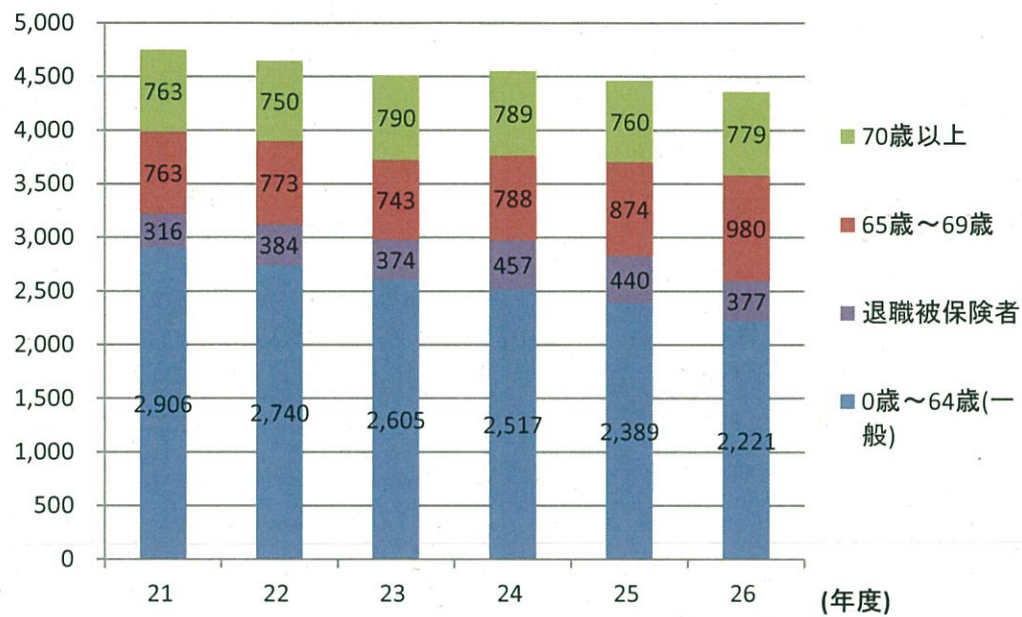
・ 今後の予定: 用地調査実施中。9月末を目処に押盛土工を着工準備中。

全体平面図 A3 S=1:2, 000



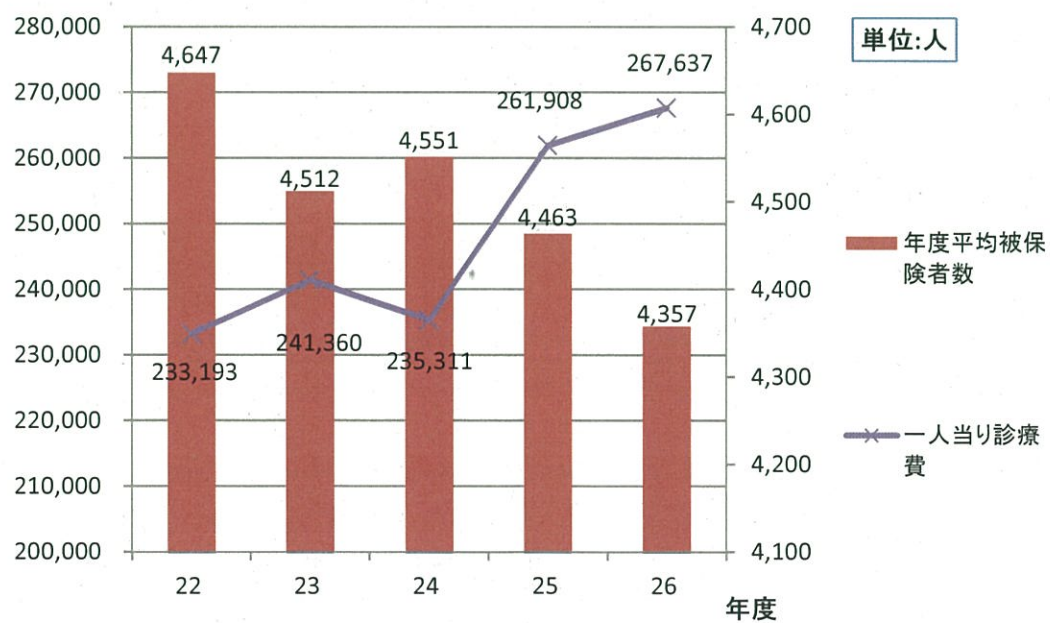
国保被保険者構成割合推移

(単位:人)



一人当り診療費推移

単位:円



教育民生常任委員会報告

国民健康保険事業の運営状況等について

・「広報ゆりはま 11 月号」に現在の医療費の動向を掲載し、このままの状態では医療費が推移すれば、保険料の引き上げを検討しなければならない状況であることを、住民に周知する予定。

・ジェネリック医薬品の利用促進を図るため、保険証更新時や役場窓口での手続き時に被保険者にチラシ等を配布するとともに、広報・ホームページ等で周知の徹底を図っている。

・特定健診・各種がん検診の受診率向上を図り、早期発見・早期治療による医療費の削減を図るため、広報ゆりはま、ホームページ、巡回広報車、受診勧奨訪問等により受診を引き続き呼びかけている。

・町民の健康増進を図り、医療費削減につなげるため、「積立貯筋運動」等の各種健康教室、「ウォーキング大会」等を実施中である。

・町民の食生活改善のため、食生活改善推進員のご協力をいただき、食育教室・料理教室・講習会等を開催中である。

第 6 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画広報について

- ・ 6 月号及び 7 月号町報に計画内容の掲載
- ・ 6 月町ホームページに計画内容の掲載
- ・ 6 月 22 日 泊 6 区健康教室 「介護保険事業計画について」説明
- ・ 計画の内容や介護保険料に特化した説明会の開催はできていませんが、地域等で開催の介護予防教室や認知症サポーター養成講座の中で湯梨浜町の現状を説明し、要介護にならないよう生活習慣病予防やゆりりん体操の普及啓発及び介護予防事業の紹介に努めているところです。

9 月末の開催状況

- ・ 介護予防講演会 3 回
- ・ 認知症サポーター養成講座 8 回
- ・ 介護予防教室 13 回

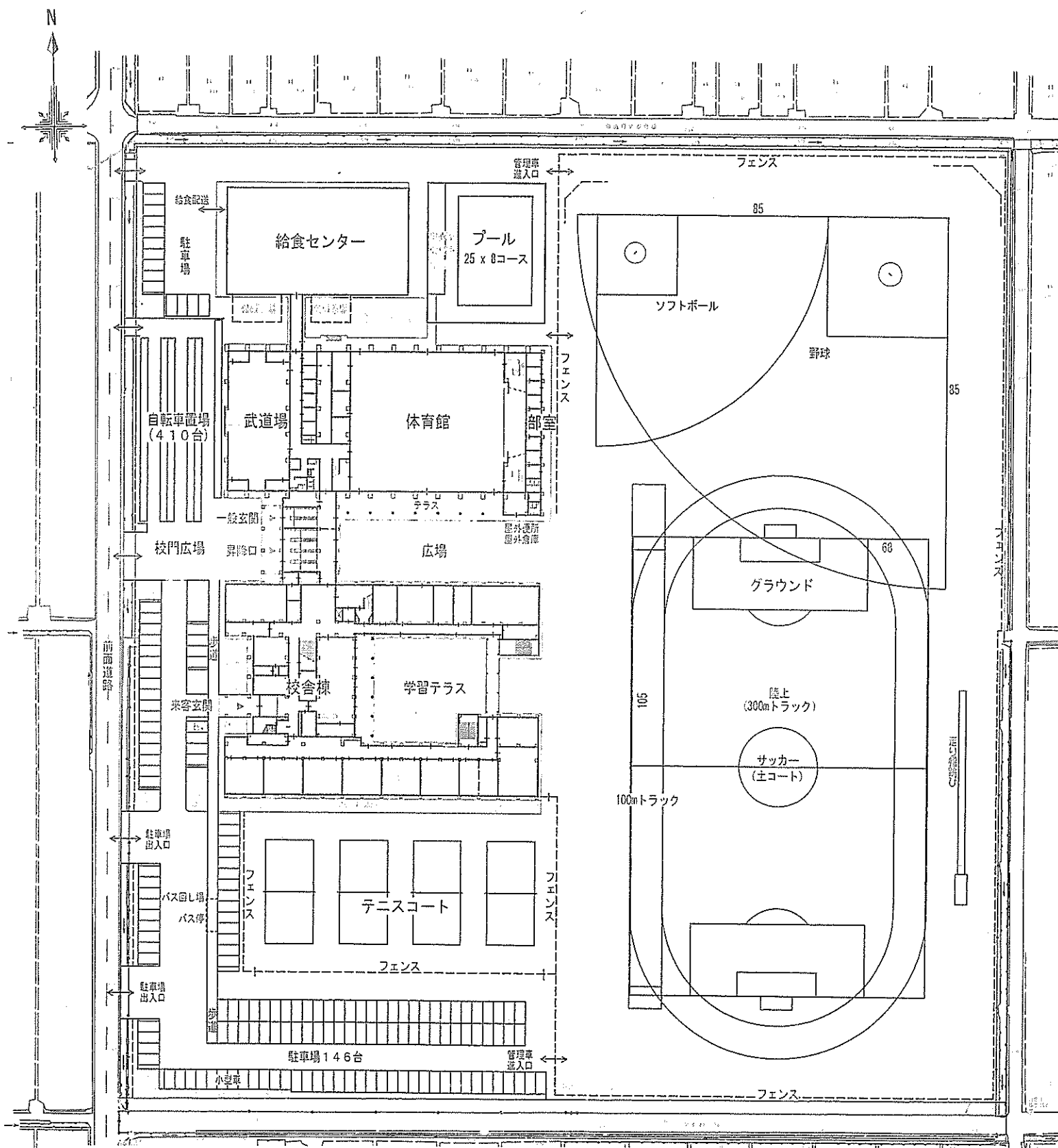
新中学校・学校給食センター建設事業工程表

開校H31. 4

	平成25年度					平成26年度					平成27年度					平成28年度					平成29年度					平成30年度									
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2					
用地関係	方針決定、場所検討					場所決定																													
						用地取得																													
						用地測量					造成設計																								
						造成工事(盛土、用水路、擁壁)					造成工事																								
						地質調査					地質調査																								
施設関係											基本設計																								
																実施設計					工事監理														
																建築確認申請・入札準備等																			
																工事																			

20月
15月
10月
12月
10月

工事
備品購入等



配置計画図 S=1:1000

駐車場 146台 + グラウンド300台 = 446台
グラウンド駐車場は南側トラック部、北側野球部のどちら側にすることも可能

新中学校建設の進捗状況等について

平成26年度：場所の決定、用地取得及び農地転用等の実施

平成27年度：地質調査、造成設計、建築設計、造成工事を実施

開校準備委員会を設置、通学路等を協議

現委員は21人。(追加委員を公募、学校・PTAの女性委員から現在依頼中)

- ・造成工事は国土交通省から土を搬入し、順次盛土を行う。今後用水路移設工事に着手する予定。
- ・地質調査時にボーリング孔からメタンガスが噴出、現在は噴出していない。ただし、ボーリング孔周辺で微量の気泡が出ている。経過観察中である。

平成28年度：造成工事を引き続き行い、建築工事に着手する予定である。

平成31年4月開校予定。

・メタンガスの噴出について

① 住民等への情報発信（HP等で周知）ゆりはま議会第47号

② 実施設計でガス対策を加味する

※可燃性メタンガス：常温・常圧で無色、無臭の気体。人に対する毒性はない。大きな用途の一つに燃料用のガスとして、都市ガスなどに使用されている。

・給食センターについて

① 主食であるパンの提供業者は大丈夫か。将来的に東郷の業者だけで対応は十分か。

② 米飯給食が週4回と聞くが、米飯用炊飯施設は検討しているか

③ 給食を教室に搬出の際、距離が長いようだが。

・通学路について

① 安全対策を十分にしてほしい（歩道設置、街頭、自転車道等）

・建築設計について

① 建物はできるだけシンプルに

② トイレは密室でいじめの元凶の巣。明るいイメージの設計を。

③ 避難所になることを十分に考慮すること

・保護者の連携について

① PTA間の連携を密に、交流の促進を

② 中学校間の連携を図れるように

ゆりはま議会

第48号

平成27年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



9月定例会

決算特別委員会 質疑あれこれ

4

水明荘大きな分かれ道

12

一般質問 CCRC推進を問う

15

町民インタビュー

20

いいところのその先へ

「全力疾走」

(北浜中学校 運動会)

ゆりはま議会 編集理念

読んでみたくなる紙面 にする

インパクトのある表紙
住民の登場
興味をひく見出し

議会だよりにしかない 情報を載せる

行政の広報と違う情報
議会活動の洗い出し
ほかの議会だよりの模倣はしない

住民目線で読みやすい 内容にする

簡潔な文章・余白
よみやすいフォントサイズ・レイアウト
住民が求める情報

会議録や活動報告では なく情報誌にする

発行の迅速化
議会ウェブサイトへの誘導



第 22 回(平成 27 年)鳥取県議会広報コンクール

最優秀写真賞



ゆりはま議会の発行の目的は、**議会への関心**を高めることと、住民が議会をチェックする材料にすることだと考えます。《一般質問・委員会報告など》

まずは読んだことのない住民に**興味を持ってもらう**。そして毎回読んでいる住民に**愛読してもらう**。表紙や見出し・レイアウト・写真など様々な工夫をしています。

《第48号 11月発行・表紙》

これからも**検証**を怠れず、また時代の潮流や住民ニーズを敏感にとらえ、**愛読し続けてもらえる**議会だよりをめざします。

【参考】

別冊、議会の概要より

① 議会広報 P3

② 部数・予算ほか P9



湯梨浜町人口ビジョンの概要

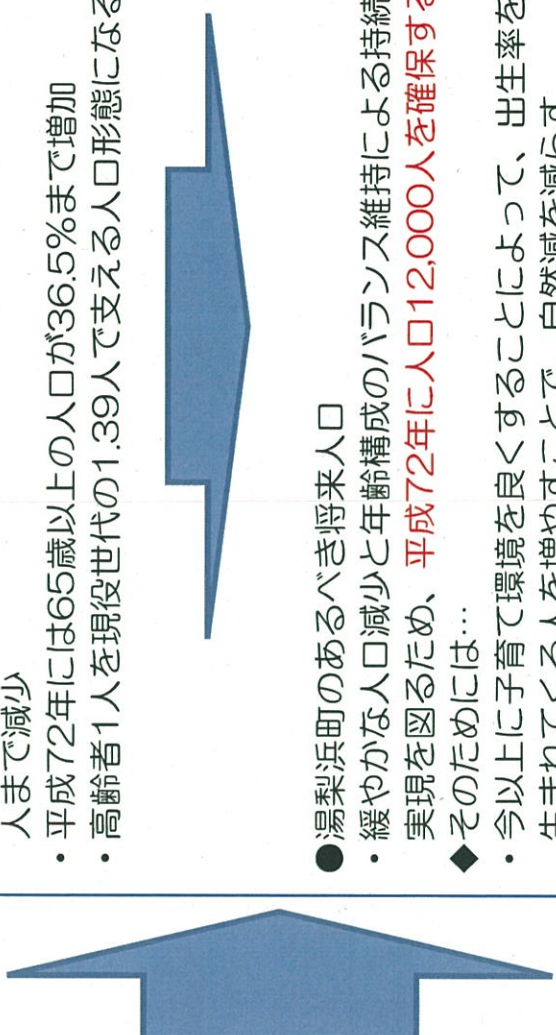
●人口ビジョンとは？

本町における人口の現状と、人口減少がもたらす影響に関する認識を町民と共有するとともに、めざすべき将来の方向を提示したものです

人口の現状

- 本町の人口は…
- 平成17（2005）年（17,525人）以降減少
- 平成25（2013）年現在、16,795人
- 65歳以上の人口が28%超
- 人口動態は…
- ◆自然増減
- 平成13（2001）年に一時的に出生数が上回ったものの、近年は自然減の状態が続く
- 合計特殊出生率は回復傾向（平成16年：1.47⇒平成25年：2.06）
- ◆社会増減
- 平成16（2004）年までは転入が転出を上回っていたが、以後は社会減が多い
- 県外に進学や就職による若年層の転出が顕著

人口の展望とめざす将来の方向

- このまま何も対策を講じなければ…
 - 平成52（2040）年に13,605人、平成72（2060）年には11,013人まで減少
 - 平成72年には65歳以上の人口が36.5%まで増加
 - 高齢者1人を現役世代の1.39人で支える人口形態になる
- 
- 湯梨浜町のあるべき将来人口
 - 緩やかな人口減少と年齢構成のバランス維持による持続可能な地域の実現を図るため、**平成72年に人口12,000人を確保する**
 - ◆そのためには…
 - 今以上に子育て環境を良くすることによって、出生率を高め、新しく生まれてくる人を増やすことで、自然減を減らす
 - 産業振興や働きやすい雇用形態の条件整備を推進するとともに、暮らしやすさや地域の魅力アップを図ることにより、移住や定住を促進させ、転出者の抑制と転入者の増加により、社会増を図る
 - これらの状態が継続できるように政策的な努力を続けていく

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

趣旨・社会背景

- 本町の人口は、2005（平成17）年をピークに減少傾向にあります。人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねません。早急に人口減少に歯止めをかけるとともに、当面避けられない人口減少に的確に対応していくことが必要です。
- 「湯梨浜町人口ビジョン」に掲げた、本町の未来に向けた3つの基本目標「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」を実現するためのまち・ひと・しごとに関する総合的な施策を展開し、喫緊の課題である人口減少を克服し、将来の持続的発展可能なまちづくりを進めようとするものです。

計画期間・位置づけ等

- 計画期間 平成27～31年度までの5年間
- 位置づけ 町民のみなさんと意識を共有化し、本町の目指す地方創生を実現するため、「第3次湯梨浜町総合計画」との整合性も図ります。
- 目標管理 PDCAサイクルに基づき、数値目標等を基に成果を検証し、必要な見直しを行います。

基本の方針

- 町内に人呼び込み、人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかけます。
- 持続可能な地域づくりを進め、当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応します。

基本目標

- I 活力ある元気なまち
（地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る）
○温泉宿泊客数 20万人（年間）
○新規就業者数（常用雇用） 200人（年間）
- II 安心して暮らせるまち
（少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進による「ひと」を増やす）
○合計特殊出生率 1.95
○出生数 160人（年間）
- III 町民みんなが創るまち
（地域の持続的発展のための活力維持による「まち」を創る）
○県外からのIUUターナー者数 850人（H27～31）
○転入転出異動 H31年度均衡

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

重要業績評価指標(KPI)

□農林水産業の振興

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興

- ・梨栽培面積 180ha→180ha
- ・梨新品種への改植・新植 1.5ha→5.0ha
- ・新規就農者 8人→15人
- ・認定農業者(家)数 37経営体→45経営体
- ・GMAP、商標権等の取得件数 0件→3件(H27~31)
- ・利用権設定面積 219.5ha→225.0ha
- ・シジミの漁獲量 45t→200t
- ・漁業経営体数 49経営体→49経営体

□観光産業の振興

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

- ・海外からのイベント参加者数 55人→500人
- ・海外からのイベント参加国数 2カ国→20カ国
- ・スッポン出荷数 0匹→2,000匹
- ・新規Wi-Fi整備施設数 0件→20件(H27~31)
- ・着地型観光商品利用者数 533人→1,500人以上

□商工業の振興

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- OICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進

- ・支援制度を活用した起業数 3件→7件(H27~31)

□雇用の推進

- 職場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

- ・支援制度を活用した雇用者数 2人→10人以上(H27~31)

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

重要業績評価指標(KPI)

□子育て環境の推進

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減)
- 妊娠後期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていくようとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

- ・1歳に到達するまで家庭で保育する率
62.2%→80%
- ・第3子以降出産数 27人→150人(H27～31)
- ・こども園待機児童数 0人→0人
- ・自主学習の広場利用者数
小学生0人→小学生100人
中学生0人→中学生100人
- ・故郷で暮らしたい児童の割合 70%以上
- ・鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数
12社→22社

□地域福祉の推進

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- アクティブシニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

- ・介護予防・健康づくりリーダー・養成者数
0人→100人(H27～31)
- ・CCRC事業に参画する民間事業者・団体数
0団体→5団体以上

□結婚の出会いの場づくりと情報提供

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進
- 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

- ・結婚支援事業による婚姻件数 1件→5件
(H27～31)

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

重要業績評価指標(KPI)

□移住定住の推進

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やIJUターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

- ・空き家バンク成約件数 3件→25件(H27～31)
- ・若者・子育て世代の移住件数 0件→25件(H27～31)

□まちのにぎわい創出や拠点の形成

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す

- ・新規自主防災組織組組件数 0件→10件(H27～31)
- ・集会所バリアフリー件数 0件→25件(H27～31)
- ・小さな拠点の数 0地域→1地域(H27～31)
- ・温泉熱エネルギー利用施設数 0施設→4施設(H27～31)
- ・NPO法人、ボランティアグループの数 36団体→43施設